



編集 / 議会だより編集委員会
発行 / 宇土市議会 令和6年5月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<https://www.city.uto.lg.jp/>



今後整備予定の多目的交流施設

写真は旭町の旧田中会館です。今後公共施設として再利用を行い、図書館機能を核とした幅広い年代の第3の居場所(サードプレイス)として生まれ変わる予定となっています。3月定例会にて議題となりました。(関連記事 P2、P5、P12、P15)



主な内容

- P 2 令和6年3月定例会
- P 3 令和6年第1回臨時会
- P 4~P13 代表・一般質問
- P14~P15 委員会報告
- P17 議案・請願等の議決結果
- P18 編集後記

代表・一般質問の動画は
こちらをチェック!



令和6年 3月定例会

3月定例会を2月28日から3月19日まで、21日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市養護老人ホーム芝光苑解体基金条例の制定など条例関係17件、令和5年度宇土市一般会計補正予算など予算関係16件、その他3件、議員提出議案として宇土市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定、非平時にかかる地方自治法の改正に当たっては地方自治の本旨が守られることを求める意見書が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は14～15ページに、議決結果は17ページに掲載しています。

条例

◆宇土市養護老人ホーム芝光苑解体基金条例

宇土市養護老人ホーム芝光苑の解体及び撤去に要する経費の財源を確保するため、基金条例を制定するもの。

【主な内容】

- ・基金の額、管理、運用益金の処理、処分などについて規定する。

【施行日】 令和6年4月1日

◆宇土市企業立地特別奨励金条例の一部改正

企業優遇制度の適用範囲を拡大し、市の企業振興・企業誘致を促進させるため条例を改正するもの。

【主な内容】

- ・奨励金対象の拡大
土地の賃借及び施設の移設を新たに奨励金の対象とする。
- ・指定要件の緩和

①施設等用地面積の要件緩和
変更前 5,000㎡以上
変更後 2,000㎡以上

②新規雇用5人以上の要件撤廃
・奨励金の名称変更

変更前 用地取得費奨励金
変更後 設備投資促進奨励金
変更前 給水加入金交付金
変更後 給水加入奨励金

【施行日】 令和6年4月1日

◆宇土市民グラウンドの設置等に関する条例等の一部改正

市内に居住する高校生以下の者が夜間照明設備を使用する際の使用料を見直し、子育て世帯の経済的負担軽減を図る

ため、条例を改正するもの。

【関係条例】

- ・第1条改正 宇土市民グラウンドの設置等に関する条例
- ・第2条改正 宇土市都市公園条例
- ・第3条改正 宇土市農村運動広場施設等の設置及び管理に関する条例
- ・第4条改正 宇土市立学校体育施設の使用に関する条例
- ・第5条改正 宇土市スポーツセンター条例

【主な内容】

- ・市内居住の高校生以下の者が使用する場合の夜間照明設備使用料を、一般の者が使用する額の半額とする。

【施行日】 令和6年4月1日

予算

◆令和5年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ1億2,958万9千円減額し、総額を238億9,270万7千円とする。主なものは、船場川湛水防除事業、都市計画道路整備事業、都市計画道路整備事業(国補正分)の減額補正。

その他

◆財産の取得

予定価格2,000万円以上(土地については、1件5,000平方メートル以上のものに限る。)の財産を取得するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規

定により、議会の議決を求めるもの。

【取得する財産】

建物

建物3	建物2	建物1	
宇土市境目町字柳町187番1	宇土市松山町字東柳町1290番1 宇土市松山町字東柳町1291番1 宇土市松山町字東柳町1293番1	宇土市旭町字綿打522番1	所在地
倉庫	駐車場	遊技場	種類
軽量鉄骨造亜鉛鉄板葺平屋建	鉄骨造2階建	重量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板・合金メッキ鋼板葺2階建	構造
36㎡	1階 1,031.32㎡ 2階 1,142.01㎡ (延) 2,173.33㎡	1階 808.05㎡ 2階 398.91㎡ (延) 1,206.96㎡	面積(㎡)

【取得の方法】

随意契約

【取得価格】

5,742万円(消費税及び地方消費税相当額を含む。)

【契約の相手方】

宇土市新町四丁目20番地
有限会社 田中会館
代表取締役 佐藤 耕基

令和6年度予算総額 345億5,130万6千円

一般会計	227億4,000万円	(215億9,000万円)
特別会計(5会計)	91億400万8千円	(90億4,441万3千円)
企業会計(2会計)	27億729万8千円	(26億4,630万9千円)

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計

※各予算の()内は、令和5年度当初予算額

◆令和6年度宇土市一般会計当初予算(概要)

予算総額は227億4,000万円で、前年度当初予算と比較すると、金額で11億5,000万円の増額となっています。

費目 (歳出概要)	予算額 (単位：千円)	歳出の主なもの
議会費	183,361 (177,749)	議会運営に伴う経費
総務費	2,446,671 (2,188,115)	地方バス路線維持対策事業経費、基幹系電算システム経費、自治活動支援経費、網田レトロ館整備事業、網田コミュニティセンター建設事業
民生費	7,980,084 (7,493,691)	障害者福祉サービス事業経費、子どものための教育・保育給付事業、児童手当費、生活保護扶助費、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療広域連合負担金
衛生費	1,196,413 (1,692,983)	乳幼児学童定期予防接種事業、清掃収集業務経費、廃棄物減量化対策経費、宇城広域連合負担金(宇城クリーンセンター費)、宇城広域連合負担金(環境再生センター費)
農林水産業費	2,002,750 (1,558,707)	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業、船場川湛水防除事業、湛水防除事業(網津第2排水機場)、緊急浚渫推進事業(農業用ため池)、水産物供給機能保全事業、高潮対策事業
商工費	1,735,543 (1,831,763)	住宅リフォーム助成事業、創業・開業支援事業、干潟景勝地展望広場整備事業、ふるさと宇土応援基金経費
土木費	1,882,196 (1,707,841)	社会資本整備総合交付金事業(改築)、橋梁長寿命化事業経費、緊急自然災害防止対策事業(河川)、都市計画道路整備事業、下水道事業経営支援補助金
消防費	762,523 (784,267)	宇城広域連合負担金(常備消防費)、消防団経費、避難所強化事業
教育費	2,065,182 (1,614,485)	特別支援教育事業(幼・小・中)、多目的交流施設整備事業、市民会館施設改修事業、社会体育施設整備事業、学校給食調理経費
災害復旧費	4 (9,616)	農林水産業施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費
公債費	2,435,272 (2,480,782)	元金、利子
諸支出金	1 (1)	普通財産取得費
予備費	50,000 (50,000)	予備費

※各予算の()内は、令和5年度当初予算額

令和6年 第1回臨時会

第1回市議会臨時会を1月29日に開催しました。

臨時会では、市長提出議案として、宇土市手数料条例の一部改正、令和5年度宇土市一般会計補正予算(第7号)についての2件が上程され、原案のとおり決定しました。

令和6年3月宇土市議会定例会 代表・一般質問一覧表



【代表質問】

発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	宇土市政研 「志」 野口修一	(1) 総論 (2) 震災復興分野の「輝く」未来～震災からの復興～ (3) 教育・文化分野の「輝く」人～学びのふるさとづくり～ (4) 保健・福祉・医療分野の「輝く」絆～安心のふるさとづくり～ (5) 産業・経済分野の「輝く」産業～活力のふるさとづくり～ (6) 生活環境・都市基盤分野の「輝く」まち～安全のふるさとづくり～ (7) 行財政運営 (8) 地区のまちづくり計画	5

【一般質問】

発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
2	中口俊宏	(1) 行政主導による土地開発について (2) くまもと子ども芸術祭の開催について (3) 安全・安心なまちづくりについて	6
3	櫻崎政治	(1) 高齢者支援対策 (2) 環境対策 (3) 台湾・台南市訪問	7
4	西田和徳	(1) 西部地域活性化について	8
5	今中真之助	(1) 学校教育について (2) 学校給食と給食センターについて (3) 有機農業について (4) 保育所について (5) LINE 公式アカウントについて (6) 移住定住支援対策について (7) 自治体マイナポイント事業（キャッシュレス給付）について	9
6	浦本晴美	(1) こども基本法及びこども家庭センターに係る意見と対応について (2) 水道管の耐震化について	10
7	中野洋一	(1) 本市の地震などの災害に対する防災及び危機管理について (2) がん患者等へのアピアランスケアの支援について (3) おたふく風邪ワクチンの費用助成について (4) 軟骨伝導イヤホンの導入について (5) 子どもを被害者にも加害者にもさせない AI ペアレンタルコントロールアプリの活用について (6) 東京都内の大学生を対象とする地方企業への就職活動支援について	11
8	土黒功司	(1) 自然災害時における、ホームページ・庁内データ管理の安定運用、運営体制について (2) ふるさと納税制度変更に伴う、市への影響について (3) GIGA スクール構想の現状と今後について (4) 旧田中会館を活用した多目的交流施設事業について	12
9	福田慧一	(1) 第9期介護保険事業計画について (2) 木造住宅の耐震化促進について (3) 教育問題について (4) 妊婦に対する国保税の均等割・所得割の減免と国民年金の免除について (5) 会計年度任用職員の処遇改善について	13

※上記質問事項については、一部記事として掲載されない場合もあります。
 ※上記QRコードから、定例会の録画映像を視聴できます。

施政方針について



(宇土市政研「志」)
野口 修一 議員

日台交流でこれから何を 目指すのか

問 熊本県と韓国・忠清南道との姉妹提携30周年、35周年、40周年の相互訪問の経験から、宇土市と台南市との交流は、東アジアの緊張する環境の中で、自治体間交流が大きな意味を成すと考える。市長の進める民間交流とは。

答 宇土市の子どもたちに、湯徳章氏を学んでもらい、台南市の子どもたちと交流を深める取組を推進したい。また、2市1町を一つの観光・経済圏域として捉え、一体となって観光資源を台湾へとアピールすること、インバウンド客や企業を呼び込み、異文化交流や異業種交流に近づきたい。
(市長)

防災士の役割と活用、市民の 救急救命

問 市長自ら防災士の資格を得て、市民生活の中でどうかすかアイデアの一端を語って欲しい。また、全国の先進自治体で始まっている、AEDの昼夜を問わず使える環境づくりに加え、AEDを使える人材を増やすことについて尋ねる。

答 2月1日現在120人の宇土市民が防災士の資格を取得されている。市民の災害時の自助・共助に対する意識改革につながる啓発を推進したい。また市内の公共施設42箇所にAEDがあるが、うち24時間AEDが使用可能な公共施設は、市役所庁舎の1箇所で屋外の設置はない。一番重要なのは急病人が心肺停止の場合、救急隊到着まで急病人の脳に酸素を供給する胸骨圧迫動作の継続であり、その補助器具がAEDであることを正しく伝えていく。(市長)

災害発災後の救助・命をつなぐ道

問 市西部は半島地域のため、海岸沿いや山間部の道路が通行できないことを想定し、第二、第三の救助ルートが必要と考える。熊本天草幹線道路が通る予定の網田に、パーキングエリアを設置して、海岸沿いの崖崩

れや山側の土砂崩れが発生した時、パーキングエリアから作業道を使い救出したり、孤立した集落へ支援物資を届けることに有効と考える。また南部農免道路を防災道路と見直し、網田コミュニティセンターまで延長すれば、国道や自動車専用道路を使えない事態の時も支援物資が届けられる。人命救助と被災後の命をつなぐ道路について尋ねる。

答 熊本天草幹線道路が完成すると、救援・物資輸送の代替路機能が確保される。現在、パーキングエリア設置について国土交通省と協議はしていないが、災害発生時に熊本天草幹線道路が活用できるよう、様々な観点から協議を行っていく。南部農免道路の延伸は、多額の予算と膨大な時間を要する。まずは熊本天草幹線道路の1日も早い全線開通に向け、要望活動等に取り組む。(市長)

市民グラウンド及び旧田中 会館、調整池の活用

問 グラウンド周りのウォーキングコースは、線路側の応援場所が高く盛り上がり、防犯上の死角になっていく。死角解消のため応援場所を撤去し、トイレ側まで平らにしてゴムチップを張った400mトラックに替え、芝を全面に張り公園的に使うと、日頃は家族連れ遊び場、時に

はプロサッカーチームの練習場に見えるのでは。加えて線路側に、南北に長いスケートボード練習場を作り、明るい照明を付けると防犯対策になると思うがどうか。

答 市の構想としては、旧田中会館跡地を活用した多目的交流施設の整備事業と併せ隣接する場所に、調整池周辺の木々を活かしたジョギングコースを夜間でも使用できるよう再整備し、健康増進を目的に誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境整備に取り組む。これからのスポーツ施設は、単にスポーツに親しむだけでなく、多様な世代が交流し、地域に賑わいを呼び込む場所となる必要があると考える。周辺一帯をスポーツや文化を融合した憩いの場にした
(市長)

創業・開業支援補助金

問 事業を起す起業は、何の分野も大変な労力と努力が必要である。この補助金の改正内容は。

答 宇土市創業支援事業補助金について、令和6年度からは、人口減少が顕著である住吉中学校区・網田中学校区の西部地区で創業した場合、補助率は変わらず3分の2だが、上限を5倍の500万円まで拡充する。
(市長)



開発候補の予定地(宇土シティモール北側)

宇土市主導による土地開発を行い 企業進出用地等を確保する

行政主導による土地開発 について



(無所属)
中口 俊宏 議員

問 土地開発の進捗状況について質問する。

答 令和4年度5箇所、令和5年度6箇所、全11箇所の開発候補地について、土地利用計画を検討し、開発計画案や収支計画の作成を行い、事業採算性や実現可能性について検証した。また、開発に携わる民間業者等に対し、市場性の有無や参入意欲、参入の条件等聞き取り調査を実施した。更に先進自治体の視察や民間開発業者との意見交換など、情報収集にも努めた。

問 土地開発の今後の方針について質問する。

答 全11箇所の開発候補地を検証したところ、ウキウキロード沿線、宇土シティモール北側、緑川工業団地周辺の3箇所において、立地条件や事業採算性が

らも実現可能性があるとの結果が出たため、この3箇所の開発を優先的に推進する。しかし、開発候補地は全て個人所有の土地のため、令和6年度に当該3箇所について土地開発に対する意向確認を実施する。その結果、土地所有者の協力が得られれば、スピード感を持って市と民間開発業者との協働による開発や、土地開発公社による用地の先行取得、組合施行による土地区画整理事業も含めた検討を重ね、積極的に取り組む。

(市長)

くまもと子ども芸術祭の 開催について

問 くまもと子ども芸術祭を宇土市において開催する意義、目的について質問する。

答 くまもと子ども芸術祭は子どもたちによる主体的な芸術文化活動を通じて、伝統文化の次

世代の担い手を育成するとともに、熊本の芸術文化の活力を高めることを目的としている。県や開催地の市町村、文化協会等で構成される実行委員会が主体となり地域巡回方式で実施されており、令和6年度は宇土市で開催する。

(教育部長)

問 教育委員会の方針について質問する。

答 今年8月開催予定の「くまもと子ども芸術祭2024 in うと」では、子どもたちを中心とした雨乞い太鼓や宇土の御獅子舞などの伝統芸能の披露を通じて、宇土の先人達から受け継がれてきた伝統文化の継承や担い手の育成につなげたいと考えている。また、吹奏楽やバレエなどの芸術文化活動や絵画や書道などの創作活動に取り組む子どもたちの発表の場を提供することで、活動意欲が更に高まり、豊かな感性や創造性を育む効果が期待される。

今後、市内の伝統芸能の保存会や芸術文化関連団体のほか、小中学校と連携し準備を進めるとともにパンフレットなどで積極的に周知を図る。(教育長)



eスポーツを行う様子



台湾の英雄 湯徳章

高齢者支援対策 認知症の初期状態である軽度認知症(MCI)の段階での対応強化を

台湾・台南市訪問



(無所属)
樫嶋 政治 議員

問 今年度台南市を訪問した目的と今後の対応は。

答 本市にルーツを持つ湯徳章氏の3月13日の命日に訪問したという市長の意向を受け、12月18日から20日にかけて、副市長を団長として台南市訪問を行った。そこで事前調整及び情報収集を行い、3月の市長を団長とする台湾訪問が実現することとなった。今後の取組は、まず本市の子どもたちに湯徳章氏のことを知って学んでもらうため、徳章氏に関する絵本を日本語に翻訳し、配布したい。また子どもたち同士が交流関係を築き、相互理解に繋がる支援や施策を推進する。さらに、地域経済・観光分野においても、官民連携した取組による交流を進めていく。(企画財政部長)

問 市長の思いは。

答 まずは本市の子どもたちへ徳章氏をきっかけに国際交流を

推進し成長につなげたい。さらに台湾との経済分野でのつながりを求めたい。訪日客を宇城地域に取り込み、つながりを深めた先に企業誘致があると考えている。効果は一朝一夕には出ないがぜひ議会の協力をお願いしたい。(市長)

高齢者支援対策

問 認知症の初期状態である軽度認知障害(MCI)の段階で対応することで重度化を防げるとされているが、本市の対策は。

答 認知症の進行に合わせた医療・介護サービスをまとめた「認知症ケアパス」の積極的な活用と必要に応じた掲載内容の見直しを行う。また、早期の認知症予防対策のため、高齢者の生きがいづくり及び社会参加の機会を充実させる。(健康福祉部長)

BCCP(業務継続計画)の策定

問 介護事業所等に策定を義務付けられたBCCPは3年間の経過措置期間が今年度末で終了する。策定が終わっていない施設のサポートはできないか。

答 BCCPは、計画を策定するだけでなく、策定後も実態に応じて見直すことが重要なことから、市の運営指導等において、計画の策定状況や研修、訓練の実施状況を確認し、各事業所に対して適切な指導、助言を行っていく。(健康福祉部長)

不燃物回収の変更

問 令和6年4月から不燃物の回収が変更となるが、問題点とその対応は。

答 今後の問題点としては、ごみ出しルールの理解とその徹底が考えられるため、まずはごみ出しルールを記載したカレンダーの配布、ごみ置き場に掲示する看板を配布する。行政区長等からの意見等を踏まえ、今後も新しい回収方法を運用しながら住民の声に真摯に耳を傾け対話を重ね、行政区ごとの要望に対して柔軟に対応を検討し、よりよい運用に努める。(市民環境部長)



住吉海岸公園の整備状況

西部地区の活性化について

西部地区の観光振興への取組

問 今後の観光振興への取組は。

答 多くの観光資源がある西部地区では、現在住吉海岸公園の駐車場整備を行っており、令和7年4月に供用開始の予定である。整備後は、一般駐車スペース100台、キッチンカー駐車スペース4台を設け、更なる観光誘客に向け準備している。干潟景勝地でも、展望所周辺の駐車場整備事業を進め、新たに約50台分確保し、令和8年度に供用開始の予定である。2期工事として既存の展望所の改修を行い、身障者用駐車スペースやトイレの新設等も予定している。今後も各観光資源を整備しながら、市単独の事業だけでなく県との連携を強化し西部地区の活性化に取り組んでいく。

(経済部長)



(宇土市政研「志」)
西田 和徳 議員

過疎・高齢化による買い物難民への政策を

問 西部地区に於ける移動販売は一部の地域なため、住民から近くにはスーパーが欲しいとの声があがっている。公共交通を使わずに買い物に行くことができない高齢者の増加が予想される中、買い物等の支援の取組は。

答 スーパー等の商業施設が市街地に集中して立地するため、郊外の交通弱者に対し移動手段としてコミュニティバス、ミニバス、予約型乗合タクシーを運行している。中でも令和3年10月から導入した予約型乗合タクシーは、網田地区全域と網津地区の一部で自宅から市街地の医療、商業、公共施設を結び運行している。導入から2年半経過し利用者は増加しているため、今後も負担軽減と利便性の向上を目指し、ニーズの把握や運行内容見直し・改善を実施して円滑な移動を支援していく。

また現在市内全域を対象に配食・宅配サービス、移動販売が民間企業・協同組合等の団体により行われている。
社会福祉協議会で作成されたこのようなサービスのガイドブックを、相談時に活用し情報提供しており、今後もサービスが繋がっていくよう努める。

(健康福祉部長)

西部地区への企業誘致取組

問 西部地区への企業誘致の取組状況は。

答 来年度から企業誘致の優遇制度である宇土市企業立地特別奨励金条例の大幅要件緩和を行う。また宇土市創業支援事業補助金では西部地区に開業の場合、上限が500万円に拡充される。さらに、総事業費1億円以上の農水産加工施設を新たに建設する事業者に対する宇土市農水産加工施設整備事業補助金も新設し、企業進出の加速及び雇用が増えることを期待している。

要望 観光振興・企業誘致の取組、高齢者の買い物等の支援をスピード感を持って進めて欲しい。

(総務部長)

西部地区への拡充支援策

支援メニュー	西部地区 (網田中校区・住吉中校区)		その他の地区
新築か建売住宅を購入(上限額)	100万円		—
さらに中学生以下のこども1人につき	2人につき		—
	2人につき		—
	3人以上		—
空き家取得費用	空き家バンク登録物件で、上限額	100万円	50万円
空き家改修費用(賃貸借のみ。補助率1/2)		100万円	50万円
家財撤去費用		20万円	10万円
創業支援補助金(補助率2/3。上限額)	500万円		100万円
新規就農者支援事業給付金(年間。最長2年間)	180万円		120万円
※このほか、網田・網津地区にて診療所を開設した場合に上限5,000万円(補助率1/2)があります。			

この支援策をもとに子育て層に選ばれる地域になってほしい

今年度拡充された西部地区活性化支援策



(宇土市政研「志」)

今中 真之助 議員

学校給食と給食センター

問 給食費無償化について尋ねる。

答 市独自の無償化は厳しいが、重要な子育て支援策のため国に要望していく。(教育部長)

問 オーガニック野菜や調味料の活用状況と課題、今後については。

答 現在使用していないが、安定的供給や価格等の課題が解消されれば給食食材として使用する思いはある。(教育部長)

問 本市の介護・医療施設での給食における運営状況は。

答 市では実態を把握していないが、調理員不足の施設があると同っている。(健康福祉部長)

問 センtralキッチン(給食センター)で調理した給食を介護施設や医療施設にも配送)としての運用の可能性は。

答 教育委員会での給食センター建て替えの議論の中で、セントラルキッチン利用についても検討が必要と考える。(市長)

有機農業

問 本市の有機農業の現状は。

答 2023年度の耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合は、国の2050年度までの目標数値25%に対し、本市は0.2%と少ない状況である。

問 有機農業を促進し学校給食と連携できないか。(経済部長)

答 供給量確保の課題があり、現状では地元産有機農産物の学校給食への提供は難しい。(市長)

保育所

問 令和8年度から「子ども誰でも通園制度」が始まる予定だが現状対応は可能か。

答 制度の必要性は十分認識しているが、まずは待機児童の解消を最優先に進めたい。(健康福祉部長)

問 市で保育士を雇用し保育所に派遣したり、保育士としての地域おこし協力隊員活用など考えられないか。

答 他自治体の事例などを参考に調査研究したい。(市長)

LINE公式アカウント

問 充実させる内容及び現在の登録者からの普及方法、目標数は。(3月4日現在3,119人)

答 防災情報の地域特化型配信や子育て支援情報の提供など多岐にわたるLINEの拡張機能を導入し、PR活動を積極的にを行い、人口比の約30%を目指したい。(総務部長)

移住定住支援対策

問 空き家対策における拡充の内容は。

答 空き家バンクは市外からの転入に限らず市内の方でも利用登録が可能とするなど、大幅に枠を広げる。

また、空き家バンク制度利用者への補助として、空き家取得、改修に対して100万円(西部地区)又は50万円(西部地区以外)、家財道具撤去費20万円(西部地区)又は10万円(西部地区以外)と、補助額変更や補助対象項目の追加を行う。そのほか西部地区での住宅取得に100万円、併せて同地区へ転入・転居する場合は中学生以下の子ども数に応じて追加補助する。(企画財政部長)

宇土市水道事業の基本理念

いつでも安全で安定した水の供給を目指して



安全安心な水道

安全で良質な水を安定的に供給するために、水道検査体制の強化に努めるとともに、遠方監視システムを新たに導入し、管理基準の向上や維持管理の効率化を図ります。



強靱な水道

大規模災害時においても必要最小限の給水が可能となるよう、主要配水池の耐震化や緊急遮断弁の設置を行い、ライフラインの確保に取り組みます。



健全で持続可能な水道

給水人口、節水機器の普及による給水量の減少に伴う事業収益の低下や老朽化施設の更新などの将来見通しを踏まえ、水道料金のあり方の研究や計画的な事業推進に努め、経営の効率化を図り、健全で持続可能な事業運営を行います。

宇土市水道ビジョンより

能登半島地震から学ぶ 災害に強い施設整備と持続可能な経営基盤の確立を!

要望 こども家庭センターの役割は、多岐にわたる網のような連携が求められる。今こそ、教育と福祉の連携を軸に一貫した切れ目のないサービスの実践を

問 設置に向けた組織体制や設置場所、人材の必要性について。
答 本年4月から全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対して一体的な切れ目のない相談支援を行うことを目的とした「こども家庭センター」を本庁子育て支援課内に設置し、適切な相談支援体制の構築を目指している。母子保健部門と児童福祉部門の両機能を、組織として一体的に運営することで情報連携や協働をより深め個々の要支援家庭に応じた切れ目のない対応・相談を行う。センター長をはじめとして、統括支援員・子ども家庭支援員・保健師等を配置する。
(健康福祉部長)



こども家庭センターの設置

(風)
浦本 晴美 議員

期待する。

水道管の耐震化

問 年明け早々の能登半島地震、水道管が広範囲で破損し発生から2か月、断水が未だ1万8,880戸で続いているとのこと。本市の水道施設の耐震化は。
答 被災した際、大規模な断水を避けるため、管径が大きな水道管から優先して耐震化を進めており、令和5年3月末時点の耐震化した水道管は総延長256kmのうち47kmで、耐震化率は18.4%となっている。また現在網津配水池の耐震化も進めており、令和6年度から轟浄水場と花園配水池についても取り組予定である。
(建設部長)

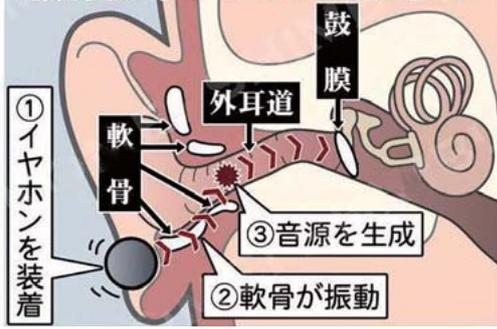
問 耐震化で使用している水道管の素材・耐震・耐久性はどうか。
答 口径が250mm以上で主に採用しているダクタイル鋳鉄管

は、地震による地盤の動きに対して柔軟に対応出来るよう管と管の継ぎ手が伸縮性や抜け落ちを防止する機能を備えたものである。口径が250mm未満で主に採用している水道配水用ポリエチレン管は非常に強度が高い管で、管と管を一体化させる構造となっており、実際に本市が熊本地震で被災した際にも漏水は確認されていない。

問 今後、人口減少により水道事業経営が厳しくなっていく中、水道管の耐震化はどうなるか。
答 令和3年度に策定した宇土市水道ビジョンでは、水道事業の将来を見通し、令和4年度から13年度までの10年間に於いて水道水の需要、収益の予測を行い、施設更新については各年度のばらつきが出ないよう標準化を図りながら計画を立てている。しかし、人件費の上昇や物価高騰等により、計画策定当時より厳しい状況である。経営の安定化を図りながら財源を確保し、耐震化を含めた施設更新を少しでも早めたい。

(建設部長)

清潔、音声明瞭、音漏れなし 軟骨伝導イヤホンの仕組み



難聴者が意思疎通しやすい

がん患者へ



香川・善通寺市

外見ケア用品に助成

がん治療を続ける人へ医療用ウイッグなどの費用助成(善通寺市)

輝く宇土市！ みんなが住みたい宇土市をめざして！

問 現在、使用推奨期限を迎える前に、無償で保育所や介護保険施設などに配布しており、備蓄倉庫にストックはない。そのため、ホームセンター等と災害時における物資の供給に関する協定を締結し、女性・妊産婦・乳幼児に必要な物資を優先的かつ迅速に供給できるように連携強化に努めている。さらに、能登半島地震を踏まえ孤立した状態となった場合に対応できるよう、一定量の備蓄品の配備を進

答 現在、女性正規職員の配置はない。内閣府策定のガイドラインを参考にしながら、今後、正規女性職員配置の検討を進める。
問 女性・妊産婦・乳幼児に必要な備蓄品はどうなっているか。
答 現在、使用推奨期限を迎える前に、無償で保育所や介護保険施設などに配布しており、備蓄倉庫にストックはない。そのため、ホームセンター等と災害時における物資の供給に関する協定を締結し、女性・妊産婦・乳幼児に必要な物資を優先的かつ迅速に供給できるように連携強化に努めている。さらに、能登半島地震を踏まえ孤立した状態となった場合に対応できるよう、一定量の備蓄品の配備を進

災害に対する防災・危機管理について



(公明党)
中野 洋一 議員

問 防災・危機管理部署への女性職員の配置状況と今後の方針は。
答 現在、女性正規職員の配置はない。内閣府策定のガイドラインを参考にしながら、今後、正規女性職員配置の検討を進める。
問 通信インフラが断絶した場合でもインターネットに接続ができる衛星通信サービスを導入してはどうか。
答 国の検証結果や導入コスト、環境への影響などを含めて調査、研究していく。

がん患者へのアピアランスケア支援について

問 抗がん剤治療による副作用などにより脱毛したがん患者が使用する医療用ウイッグ等について、アピアランスケア支援として購入費用助成を導入してはどうか。
答 アピアランスケア（外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア）に係る用具の購入費用を助成する市町村に対して県が助成を検討している。県の助成方針が固まり次第、助成制度を実施する方向である。

軟骨伝導イヤホンの窓口導入について

問 耳が聞こえづらい市民への対応策として、軟骨伝導イヤホンを市の窓口を導入しては。
答 導入することにより、大きな声で話す必要がなくなり、プライバシー保護等にもつながる。一部の自治体や金融機関等でも導入が始まっており、今後導入に向けて準備を進める。

東京都内の大学生を対象とする就職活動支援について

問 今回創設される奨学金返還支援制度と就職活動の交通費の半額が補助される地方就職学生支援制度を併せてアプローチすれば移住・定住にもつながると思うがどうか。
答 宇土市奨学金返還支援補助事業を創設し、若者の雇用確保、定住・移住につなげたいと考えており、地方就職学生支援事業の活用は、絶好のタイミングと捉えている。UIターン向けのイベント等にて周知するとともに、東京都の大学に案内する予定である。

(健康福祉部長)

(市民環境部長)

(経済部長)



多目的交流施設が予定されている場所(運動公園南側の旧田中会館)

PFI事業のメリット

▶ 発注の一括化により民間ノウハウが発揮されコストダウンを達成

◆従来型の公共事業と典型的なPFI事業との違い



民間事業者を積極活用したPFI事業と従来型公共事業の比較(資料:内閣府HP)

多目的交流施設一体の事業は「市民主体」の企画づくり、「運営」を軸とした事業計画を

問 返礼品の認定手順が厳格化され、その都度国の認定を受ける必要が生じたため、申請から掲載までの期間が長引くようになった。その結果、全体の約600件のうち、約1割にあたる77件が国の認定待ちにより、

ふるさと納税

問 昨年の制度変更に伴う返礼品への影響と事業者への対応は。

答 返礼品の認定手順が厳格化され、その都度国の認定を受ける必要が生じたため、申請から掲載までの期間が長引くようになった。その結果、全体の約600件のうち、約1割にあたる77件が国の認定待ちにより、

問 現状と今後は。

答 主に庁外にある頑丈でセキュリティが高いデータセンターを活用している。また、緊急時の情報発信に関しては、テレワーク可能なシステムを導入している。今後は、災害専用ペーJの事前準備やLINE等を活用したプッシュ通知などの導入を検討していく。

(企画財政部長)

自然災害時におけるデータ管理、運営体制



(風)
土黒 功司 議員

ポータルサイトへの掲載に時間を要することとなった。今後は、事業者への通知を迅速に行う連絡手段の構築、きめ細やかな対応に努めていく。

(経済部長)

GIGAスクール構想

問 ICT教育環境の現状と情報共有は。

答 小学校と中学校で使用している授業支援ソフト及び学習支援ソフトは導入時期が違うため異なる環境となっている。今後は、小中学校間で統一されたソフトの導入を検討する。同時に、効果的な活用例について、各学校の情報担当者や密に連携し、学校間での情報共有に取り組んでいく。

(教育長)

旧田中会館を活用した多目的交流施設事業

問 該当施設、及び周辺施設を含めた今後の計画は。

答 隣接する運動公園や市民体育館でのイベント等での慢性的な駐車場不足は以前からの懸念事項であった。昨年、旧田中会館の売却の話が出た際、建物についても公共施設として再利用可能と考え、この事業を計画した。これを機に、交流施設整備だけでなく隣接する場所にジョギングコースを再整備する計画である。本事業では、過去に様々な事業に携わり、精通している方(プロデューサー)の意見を取り入れ、図書館機能を核として子どもから大人までが本に触れられる空間、様々な年代の学習スペースや子育て交流スペースを設け、誰もが気軽に立ち寄れる居心地の良い第三の居場所(サードプレイス)をつくり運営・運用をサポートしていただきたいと考えている。文化面の機能を備えた多目的交流館を整備し、運動公園一帯をスポーツエリアにとどまらず、学習エリアや幅広い市民の交流拠点としてプロデューサーや市議会議員、市民の意見を聴きながら事業を推進していく。(市長)

要望 PFIの活用検討、市民との意見交換の場を。

※PFI (Private Finance Initiative) 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法



介護施設での様子

介護保険料基準月額 6,060 円から 210 円引き下げ 5,850 円へ

第9期介護保険事業計画 について



(日本共産党)
福田 慧一 議員

安定化や人材不足への対策の強化を要望していく。

(健康福祉部長)

木造住宅の耐震化の促進 について

問 地震が相次ぎ、能登半島地震では大きな被害が出ている。木造住宅の耐震化の状況を尋ねる。また、安価なコストで耐震化工法が開発されている。この低コスト工法で住宅の耐震化を促進すべきではないか。市の考えを聞きたい。

答 本市の住宅の耐震化率は、熊本地震前のデータになるが、木造住宅が48・1%、非木造住宅が76・3%となっている。また、本市では、戸建て木造住宅の耐震化のため、耐震改修等の費用の一部を補助している。低コスト工法としては、既存の壁に構造用合板を張る工法や家の外側に鉄鋼ブレースを設置する

工法等がある。これらの工法は、設計や工事に専門的な知識が必要になることから、県内でどれだけ施工できる業者がいるか調査し、可能な場合は、市民へ情報を提供し、耐震化を促進していきたい。

(建設部長)

校則の見直しについて

問 生徒指導提要が改訂され、児童生徒が校則の見直しに参加することが重要とされている。見直しの状況はどうなっているか。

答 ある学校では、生徒自らが校則について各学級で見直すべきを討議し、その後、生徒会役員等で構成された校則検討委員会で話し合いを行い、最終的に生徒総会で決定していくという流れにより見直しを行っている。見直しを進めた結果、肌着の色は従来の白色に加え黒色も可とし、靴下の色も白色に加え、卒入学式等の例外を除いて黒色系も着用可能、髪型についても、そり込みや刈り込み禁止などの具体的な文言を削除し、極端に刈り上げたものや極端に段差がある髪型にしないというルールに変更している。

(教育部長)

総務市民

総務部・企画財政部・市民環境部
行政委員会などを所管



小崎憲一委員長

《議案関連》

令和6年度宇土市一般会計予算

問 路線バス三角・宇土間の運行本数見直しについて、令和6年4月から約4割減便されることだが、その分バス事業者への補助金も減るのか。

答 交通事業者では令和6年4月から乗務員の休憩時間確保に対応するため、路線バス減便による収入減や、燃料費高騰で欠損額の増加が見込まれている。その影響で、運行便数が4割減ったからといって単純に補助金も4割減るとは言い切れない。具体的な金額を出すのは難しいが、路線バスの補助対象期間は、10月から翌年9月を周期としており、令和6年4月から9月までの半年分の減便運行について次年度予算への影響はある。

（委員から意見） 網田地区で運行されている予約型乗合タクシーは、距離に応じて600円から900円までの料金が設定されており、同じ地区内において料金に差があるのはあまりにも不公平と思う。削減される路線バスの補助金分の財源を活用し、現在の異なる料金設定を均一にし、なおかつもっと低料金にするよう検討してもらいたい。

（委員から意見） 住吉町、網津町、走湯町の住民からも、できれば予約型乗合タクシーを利用したいとの意見があるので、エリア拡大についても検討してほしい。例えば、空き家バンク活用事業について、例えば、住宅改修では、補助率2分の1、上限額が東部エリア50万円、西部エリアが

100万円とあるが、これは移住者が賃貸契約を締結したらずに補助金が交付されるのか。

答 住宅の改修後に支払った領収書を付けて申請してもらう必要がある、実績に応じて交付する。

問 企業も対象となるのか。
答 対象は個人である。個人が空き家を使って何かを始めたいと思われる分は対象となる。

問 LINEアカウント連携システムサービス利用料について、令和6年度から導入するというところで863万3千円の予算が計上されているが、どういう経費か。
答 これは3年分の利用料であり、年間約288万円となる。令和6年度に3年分を一括で契約し、その後は単年度契約となる。登録者の興味関心に合わせたメッセージの送信ができるセグメント配信やアンケートなどができるようにする。

《議案以外》

新築住宅に対する固定資産税の減免制度の終了

問 13年間続いた市独自の新築減免制度が、現行の令和7年1月1日の適用期限を最後に終了するということが、これまでの効果をどう捉えているか。
答 13年間で1,949棟が新築されており、このうち約4分の3は市内居住の方で建て替えや転居によるもの、残りの約4分の1は市外からの転入によるものであった。宇土市への定住促進策としては、一定の成果があったと考えている。

（委員から意見） 宇土市全体の新築が年平均で約150棟あったのに対し、西部地区の新築は約19棟と少ない現状である。来年度からは、これまでの新築減免制度に代わって、全庁的に新たな定住・移住施策により取り組むとのことだが、今後の西部地区の定住・移住促進につながるよう、さらに取組を強化してもらいたい。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



今中真之助委員長

《議案関連》

令和5年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

問 橋梁長寿命化事業について、委員から橋梁点検と補修は毎年実施しているのか。
答 道路法に基づき、5年間で約530橋全ての点検が終わるよう毎年実施している。点検の結果、状態が悪いものについては、計画的に毎年5橋程度の補修を行っている。

令和5年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第4号)

問 下水道マンホールについて、老朽化や震災の影響で隆起したり、亀裂が入っているマンホール蓋があるため、適切に交換や修繕をして欲しい。
答 職員による現場確認を行い、併せて市民からの情報により、随時対応していく。

問 観光推進としてデザインマンホールを導入できないか。
答 デザインマンホールの観光需要は認識している。まずは、現時点での製作費用を確認する。

令和6年度宇土市一般会計予算

問 新規就農者育成総合対策事業について、年齢要件が50歳以上、65歳未満である理由は。
答 国事業の補助対象とならない新規就農者を支援するためである。

《議案以外》

宇土マリナ施設方針検討事業

《執行部からの説明》

浚渫費用も含め、多額の維持管理費が発生している宇土マリナの今後の運用方針を検討委員会と協議した。協議結果は、設備の更新費用を低減させるため、浮桟橋を含めた海上係留部を撤去し、周囲のマリーナ施設と比べて比較的安価な陸上置き船の利用料を改定すべきであるとの結果となった。

問 船の陸上置きを含め、全てのマリナ機能を無くした方が良いのではないか。
答 検討委員会の中でも協議したが、宇土マリナは漁業関係者の船舶の給油所としての機能を有していることや、地元学生のヨット練習や大会の場などとなっていることもあり、全ての付帯設備を無くすることはできない。よって、ある程度の収入源を確保するために陸上置きは残す必要がある。

（委員から意見）

これを教訓に、今後大型の施設等を建設する場合には、20年後、30年後のことを十分に想定して検討しなければならない。

観光推進

問 住吉海岸公園等の賑わいを見ると、宇土市にも観光地ができた実感がある。観光需要やインバウンド需要の高まりを受け、各地でこの機を逃すまいと意気込みをみせる一方で、本市では観光分野での情報発信が後回しになっている印象を受けるが、いかがか。
答 観光客をより増やすべく業務に当たっている。

（委員から意見） これからは観光を前面に押し出していかなければならない時期である。業務が多岐にわたるのであれば、市としては商分野に集中し、観光分野は民間委託することも考えるべきではないか。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



櫻崎政治委員長

《議案関連》

令和5年度宇土市一般会計補正予算(第8号)

問 中学校英語検定チャレンジ事業補助金について、市内の3中学校の生徒が受検しているということだが、対象者及び受検者数は。

答 中学3年生が補助対象であり、270人程度いる。そのうち受検者は62人であった。

問 中学校により、受検率に差異があるとのことだが、どう捉えているか。

答 原因を分析し、英語力の向上と受検率のアップにつなげたい。

令和6年度宇土市一般会計予算

問 こども家庭センターについて、今後どのようなビジョンを持っているか。

答 4月から子育て支援課内にこども家庭センターを設置し、利用者への相談支援の充実と職員間の連携を図っていく。しかし、事業を進める上で、場所が手狭になる可能性があり、相談に特化した新たな場所の検討が必要と考えている。

問 産後ケア事業の利用状況は。また、

産後女性の何割が利用しているのか。

答 産後ケアは3種類あり、令和5年度は12月末までの実人員の実績で、助産師が自宅に訪れる訪問ケアが38人、日帰りでサービスを受けるデイケアが60人、泊りがけでサービスを受けるショートステイで18人が利用されている。また、利用率は、年間の出産者約300人のうち、訪問ケアで言うと1割から2割である。

(委員から意見) 事業の利用で母親の心の安定が図られると思うので、うまく活用を広げてほしい。

財産の取得

問 旧田中会館の多目的交流施設整備について、全ての図書館機能を移転するの

答 歴史的資料以外の一般図書に移す考えであるが、今後、市民の意見を聴きながら検討していく。

問 現在の図書館はどうするのか。

答 1階に既に歴史的な資料を設置しており、ほかにも轟貝塚や古墳の資料などが多くあるため、それらの文化的な資料館といった位置付けにしたいと考えている。

(委員から意見)

旧田中会館に隣接する土地にほっとスペースを建設するとのことだが、高架橋が隣にあり、圧迫感を感じる。子どもたちが集まる場所であるため、市民の声を聴き、場所について柔軟に検討してほしい。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



西田和徳委員長

《執行部からの説明》

熊本宇土道路、宇土道路、宇土三角道路における予算配分、用地進捗率、事業進捗率は、前回の報告から変更はあっていない。

熊本宇土道路

令和5年度事業の調査設計で「令和5年度熊本宇土道路河川影響検討業務」の工期が延長されている。

また、令和6年度事業の調査設計で「令和6・7年度熊本天草幹線道路工事業監督支援業務」の入札に伴う公告がされている。これは、八代河川国道事務所宇城監督員詰所における道路に関する工事業実施の監督補助を行うもので、調査職員を支援し、発注工事の円滑な履行及び品質確保を図るものである。

宇土道路

令和5年度事業の工事で「熊本57号上野田地区改良11期工事」の工期が延長されている。また、「熊本57号網津地区改良2期工事」で契約締結がなされている。さらに、「熊本57号城塚地区改良20期工事」から「熊本57号城塚地区改良24期外工事」の5件は、入札に伴う公告がされている。これら、20期工事から23期工事の4件は、城塚地区の改良工事となっており、24期外工事、城塚地区及び上野田地区の改良工事となっている。

令和6年度事業の調査設計で「令和6・7年度熊本天草幹線道路工事業監督支

援業務」の入札に伴う公告がされているが、これは熊本宇土道路のものと同一内容である。

宇土三角道路

令和4年度線越事業の調査設計で、「令和4年度熊本天草幹線道路測量(その6)業務」及び令和5年度事業の調査設計で「令和5年度熊本天草幹線道路地質調査解析業務」の工期が延長されている。また、令和6年度事業の調査設計で「令和6・7年度熊本天草幹線道路工事業監督支援業務」の入札に伴う公告がされているが、これは熊本宇土道路、宇土道路のものと同一内容である。

《主な質疑》

(前回委員会の質疑) 宇土三角道路の予定地には、田平城の跡地があり古墳もある。今のうちから対応を協議しておく必要があるのではないか。

答 所管の文化課に確認したが、既に国土交通省と協議を行っているとのことだった。今後も継続して協議を行うよう、改めて国土交通省に申し入れた。

問 この地域高規格道路について、国土交通省のホームページ以外に、進捗状況がわかるような市の情報提供の場はあるのか。

答 現状では、国土交通省八代河川国道事務所ホームページのみだが、市としても情報提供できるものがあれば検討していきたい。

問 糠塚山トンネル工事の進捗は。

答 このトンネルは、約300メートルの延長だが、そのうちの300メートルほど掘削が進んでいる。

(委員から意見) 道路が建設される予定ルート付近に家を建設する人に対し、建設する判断材料となるような説明をしてほしい。

視察研修報告 経済建設常任委員会

1 埼玉県行田市(令和5年12月20日)

・空き家対策の取組について

行田市では、令和4年に「第2次行田市空家等対策計画」を策定し、①予防対策、②有効活用、③管理不全な空き家の解消という3つの視点から空き家対策に取り組まれています。空き家問題は多岐にわたるため、総合相談窓口を設置して窓口を一本化し、関係機関と連携しながら対策が取られていました。

具体的な取組としては、空き家マップを活用した実態把握調査の実施、地域交流拠点等の地域活性化施設として空き家を活用する場合の改修経費の一部補助、空き家解体シミュレーターによる簡易見積等、幅広いものでした。

事業開始までの過程や民間との連携協定等、宇土市における今後の空き家対策を検討するにあたり大変参考となるものでした。

2 群馬県館林市(令和5年12月20日)

・デジタル地域通貨「ぼんちゃん Pay」の取組について

館林市では、紙での金券発行事業の継続が困難となったことに伴い、令和5年4月からデジタル地域通貨事業(ぼんちゃん Pay)を実施されています。デジタル地域通貨は、市内経済の活性化を図るため、アプリ等を活用して市独自の通貨を市内登録店舗で使用するものです。お得なキャンペーンによるポイント付与のほか、ボランティア活動参加者へのポイント付与等、市民活動が活発化するような取組が行われていました。

コスト面を含めたデジタル地域通貨導入のメリット・デメリットや利用者を増やすための取組等について伺うことができ、大変有意義な内容でした。

※このほか、国土交通省による「空き家対策総合支援事業及び空き家再生等推進事業について」の研修を行いました。



【視察研修参加者】
今中真之助 委員長／杉本寛 副委員長／野口修一 委員
／宮原雄一 委員／園田茂 委員／加藤敬一郎 経済部長／
草野一人 建設部長

視察研修報告 議会運営委員会

1 神奈川県横須賀市議会(令和6年1月23日)

・広報広聴会議の活動・議員定数削減・情報共有について

横須賀市議会では、広報広聴会議の活動として、議会広報紙の発行以外に市民議会報告会や懇談会などを開催。議員定数削減においては、神奈川県内で最も人口減少率が高いことから、定数に対する議会の関心が高く、1907年の市制施行以降、7回見直されてきました。また、市民への情報共有については、本会議や常任委員会のライブ中継はもとより常任委員会以外でもライブ中継が行われるほか、政務活動費の視察報告書や収支報告書等をホームページで公開されていました。

議会運営におけるこれらの先進的な取組は、大変参考になるものでした。



【視察研修参加者】
宮原雄一 委員長／今中真之助 副委員長／山村保夫 委員／柴田正樹 委員／佐美三洋 委員／藤井慶峰 議長／園田茂 副議長／江河一郎 議会事務局長

2 長野県佐久市議会(令和6年1月24日)

・議員定数と報酬の改定について

佐久市議会では、議員のなり手不足に対する危機感から議員報酬等を考えようと、平成31年2月に市内7会場で「議会と語ろう会(テーマ:議員報酬について)」が行われています。ここでは、議員報酬を考える視点として、活動量からの算出、他議会との比較、佐久市課長級職員との比較を取り入れ、参加者との意見交換や議員間討議を実施。その後、令和5年9月定例会で議員のなり手不足解消のため、議員報酬の増額及び議員定数を2人削減し24人とする議案が可決されています。

宇土市議会でも、議員報酬や議員定数等について協議を行うこととしており、今後の協議に大変参考になりました。

台南市を訪問しました

3月12日～14日、宇土市・宇城市・美里町の合同で台湾の台南市を訪問し、宇土市議会から議員5人が参加しました。

これは、本市にルーツを持つ湯徳章氏を縁として、台南市との交流及び宇城圏域の経済活動の促進を目的に、湯徳章記念公園で開催される「正義と勇気の記念日」式典に合わせて訪問したものです。

訪問では、式典に出席し胸像に献花を行ったほか、宇土市と台南市が教育・文化・スポーツなどの分野で交流を促進することを確認。また、宇土市商工会と台南市商業会は交流に関する覚書を締結し、企業間の連携や産業・貿易ビジネス交流を促進することを確認しました。

※湯徳章氏は宇土出身の父・坂井徳藏氏と台南出身の母・湯玉（とうぎょく）氏との間に生まれ、台湾で弁護士になり、市民の多くの命を救った“台湾の英雄”として知られている人物です。



台南市商業会にて

【訪問参加者】

議長 藤井慶峰／議会運営委員長 宮原雄一／総務市民常任副委員長 佐美三洋／経済建設常任委員長 今中真之助／文教厚生常任委員長 榎崎政治／議会事務局長 江河一郎

議会個人情報保護条例運用状況

令和5年度の宇土市議会の個人情報の保護に関する条例第51条の規定による運用状況をお知らせします。

- ・保有個人情報開示の請求件数 0件
(開示・非開示決定0件)
- ・保有個人情報訂正の請求件数 0件
(訂正・非訂正決定0件)
- ・審査請求の件数 0件

* 議会だよりアンケート結果 *

令和5年10月30日～12月15日までに行った議会だよりアンケートの集計結果を市ホームページ (<https://www.city.uto.lg.jp/article/view/1257/8966.html>) にてお知らせしています。QRコードをお読みとりいただいても確認できます。

この度はアンケートのご協力誠にありがとうございました。



行政視察受入状況(令和6年1月～3月)

視察日	視察者	調査事項
2月5日	栃木県 栃木市議会	・子ども・子育て支援 事業計画について
3月27日	東京都 中野区議会	・震災復興について

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

【アドレス】

<https://www.city.uto.lg.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和6年3月定例会の会議録は、令和6年6月定例会以降に閲覧可能です。

【お問合せ】市議会事務局 0964-22-1111 内線234



編集後記

当委員会メンバーとなり早1年半。任期は残り半年となりました。これまで少しでも「見やすく」「親しみやすく」「わかりやすく」を心がけて議論しながらやってきました。議会だよりのみならず多方面で発信した方が良いのではないかなど、現在も議論中ですが、予定では次回か次々回から大幅にレイアウトを変更し、SNSなども活用していくことになりそうです。今後とも議会だより(議会からの発信活動)をよろしく願います。

(S.I)

編集委員

委員長／宮原雄一 副委員長／今中真之助
委員／榎崎政治 委員／小崎憲一

傍聴案内・会期日程

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、是非一度傍聴してみませんか。

また、6月定例会の日程は市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。広報うと6月号にも掲載します。